

人間は生かされている

モーニングセミナー

今日一日、朗らかに
安らかに、喜んで
進んで働きます。

<制作・著作>
新居浜別子倫理法人会
TEL 0897-65-1644
FAX 0897-65-1644
beturin@mx82.tiki.ne.jp

「支える」という言葉

共に生かし合う人生を



会員スピーチ 村尾会員「ファミリーハウス あい」にご協力を
活動資金捻出のため、カレンダーを販売しています。



役員朝礼 モーニングセミナー準備



藤田会長挨拶

ピンと張りつめて、極端から別の極端へ繰り返し揺れ動いていることは、真剣な状態ではあるけれど、決して健康的とは言えません。周囲の人ももそれに振り回され、お

ゆらぎ

互いに傷ついたり、関係がギクシャクしたり断絶したりさえ、するかも知れません。反対に「ゆらぎ」であるなら、本人は迷いながら手探りしながらであっても、余計な

トラブルや傷つきの少ない、建設的なカタチで物事が進んで行くことが多いようです。優しさと厳しさを、暗さと明るさを、男と女と女と男と等々、この世

の中には対になるものが沢山あります。両極端に走りすぎず、バランス良く対応すること、は、安定的発展のためには、必要なことかも知れませ

亡くしましたが、明治生まれの二人の母が喜んでくれたことは、私が早起きをして健康になったこと。そして夫婦が仲良く、子どもがすくすくと育ち、少しでも世の中に役立つこと。

仕事で、老人ホームの敷地の調査測量から特別養護老人ホームの許認可手続きまで関与させていただいたことがありました。

その行政手続きには何年もかかったので、設立した社会福祉法人の理事の方々ともたいへん懇意になりました。

ある時、老人ホームで実施されたある行事に参加させて頂いたところ、中学生の女の子が二人、ボランティアで参加しているのを目にしました。

そのうちの一人は、いつも参加してお手伝いしているらしく、おばあちゃんたちと楽しそうに笑っていました。

横で見ていると、その嬉しさが伝わって来て、私自身、胸が熱くなるを感じました。

「困った問題が起きた時こそチャンス！」と語る、津々木昭子講師



平成二十年十二月十日 (水) 午前六時から、社団法人倫理研究所法人局参事津々木昭子氏を講師にお迎えして、「人生を拓く」と題して、講演頂きました。昭和五十一年倫理法人会に入会する以前の私は、朝起きるのは遅く病気がちの人生を送っていました。講演会場に掲げられている「朝起きは繁栄の第一歩」というのは、まさにその通りだと思います。先年、実母と義母を九十七歳、九十九歳で相次いで

人生を拓く

その子は、自分が、「ただここに居る」というだけで、誰かの役に立てるといふことに一瞬にして気付いたようでした。登校拒否で、学校に行ったり行かなかったりの日々が続いていたそうなのですが、この老人ホームへ通っています。

つまり、この「支(ささ)える」という漢字は、相手だけではなく、自分自身にも、「また(又)」「プラス(+)」になっているのです。支えて、支えられて、共に生かし合う人生を意味しているのかも知れません。

泣くから悲しくなる

笑ってごらん、楽しくなるから

これは、私の友人とおばあちゃんのお話です。おばあちゃんのお話です。おばあちゃんのお話です。

「泣いたって何の解決にもならないんだよ」周囲の大人たちは、「こんな小さな子供にそんなこと言ったってわかるわけがない」と言っていました。

「泣くから悲しくなるんだよ。笑ってごらん、楽しくなるから。」

「泣くから悲しくなるんだよ。笑ってごらん、楽しくなるから。」

「泣くから悲しくなるんだよ。笑ってごらん、楽しくなるから。」

「泣くから悲しくなるんだよ。笑ってごらん、楽しくなるから。」

「泣くから悲しくなるんだよ。笑ってごらん、楽しくなるから。」

「泣くから悲しくなるんだよ。笑ってごらん、楽しくなるから。」

あなたの人生

今のあなたを創ってきたのは、あなた自身。努力次第でどのような状況を変えることが出来るか。周囲の人や環境のせいにして、変えて来なかったのも、あなた自身です。あなたの人生は、あなた以外誰も創ってはいけません。あなただけが唯一創って行けるのです。